



～情報配信・活動内容のご案内～

事務局運営： **株式会社JMC**

ISEN(教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会)ご案内

学校ICT環境の向上や、セキュリティ・情報モラルの意識啓発をサポートする団体です

ISEN(教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会)は、学校関係者、研究者、企業の専門家で構成された団体。学校ICTやセキュリティ、情報モラルの調査・研究を行い、Webサイト、メルマガ、フェアを通し、全国の学校関係者に情報発信をしています。ISENの運営事務局は、株式会社JMCが行っています。

Webサイト運営

学校情報セキュリティお役立ちWeb
今日もワンステップ！

The screenshot shows the ISEN website interface. At the top, there's a navigation bar with a home icon and a search bar. Below that, there's a main content area with a large illustration of a classroom. The illustration shows a teacher and students at computers. Text on the illustration reads: "連載 イラストで学ぶ 日常に潜む危険チェックシート 何気ない日常に、情報漏えいの危険が潜んでいる 詳しくはこちら". To the right of the illustration is a sign-up form for the "メールマガジン" (Newsletter) with the text "メールマガジンの登録" and "現在登録者数7886人". Below the illustration, there's a section for "今日のワンステップ" (Today's One Step) with a warning icon and text: "席を離れるとき、パソコンのモニターを伏せる/電源を切るのは、覗き見防止のため。". At the bottom, there's a search bar and a section for "情報セキュリティ事故ニュース" (Information Security Incident News) showing "前月の事故件数: 9 件".

<https://www.school-security.jp>

学校ICTや情報セキュリティに関する資料が満載

メルマガ発行

情報セキュリティ事故情報からICT利活用まで幅広い情報を月1回配信。学校ICTに精通した著名な先生方のコラムが好評。

学校ICTに精通した著名な先生方の寄稿

- ・富山大学 名誉教授 山西潤一先生 (ISEN委員長)
- ・東京工業大学 名誉教授 赤堀侃司先生 など

ご登録方法 (月1回発行)

トップ
ページ

右上バナー「メールマガジンの登録」をクリック

必要事項
記入

ISEN(教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会)ご案内

「学びのイノベーション&セキュリティフェア」の開催

第2回「学びのイノベーション&セキュリティフェア」は「体感!クラウドと校務の情報化」をテーマに東京・大阪で同日開催しました。

対象	学校関係者(小・中・高・大学など)、教育委員会、その他メーカー・販売店
開催日程	平成24年5月25日(金)、26日(土)
開催時間	10:00~17:00
会場	東京(本会場):東京コンファレンスセンター・有明 大阪(サテライト会場):梅田センタービル
来場者	650名
参加費	無料
主催	ISEN(教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会)
後援	文部科学省、総務省、全国の地方自治体など
基調講演	「グローバル化時代に求められる教育の情報化と今後の展望」 富山大学 教授 山西 潤一 氏 「教育クラウドとデジタル教科書」 慶應義塾大学大学院 教授 中村 伊知哉 氏 「教育の情報化ビジョン 今後のICT活用はどうあるべきか」 横浜国立大学 教授 野中 陽一 氏 「ICT支援員の役割と運用体制 ~『学習が変わる』『授業が変わる』『校務が変わる』を支援するために~」 上越教育大学大学院 教授 南部 昌敏 氏 その他、各種分科会も開催しました。



ISENの活動(1) Webサイトでの情報提供

情報セキュリティや学校ICTに関する情報を発信しています。

Webサイトは2009年9月オープン(2010年リニューアル)、
メールマガジンは2009年11月に創刊。

日常に潜む危険チェックシート

学校の日常的な場面をイラスト化。
その場面に潜む危険なポイントを
解説。教職員研修などで使える、
セキュリティ意識向上ツールです。



情報セキュリティ用語集

学校での対策や事例をあげて、
わかりやすく用語を説明。

ワンクリックアンケート

学校ICTやセキュリティに関する
クリックアンケートを実施。

情報セキュリティ事故ニュース

学校で起きた情報漏えい事故を
随時更新。事故をピックアップして、
専門家による事故の要因、対応策
なども掲載。



学校ICT・セキュリティコラム

学校ICTに精通した先生による
コラム。メルマガでは、先行して
コラムを配信しています。

Twitter ISENのつぶやき

セキュリティ対策のポイントなどを
毎日つぶやいています。

http://twitter.com/school_security



関連省庁・団体ニュース

最新の学校ICTに関するニュース
や話題を掲載。学校ICTに関して
各省庁の動向も把握できます。

Webコンテンツ紹介①

セキュリティ啓発のための資料や情報が満載。教職員向け研修などで利用されています。

日常に潜む危険チェックシート

イラストに隠された情報セキュリティ上の危険性を考えることで、情報セキュリティの意識が身に付きます。



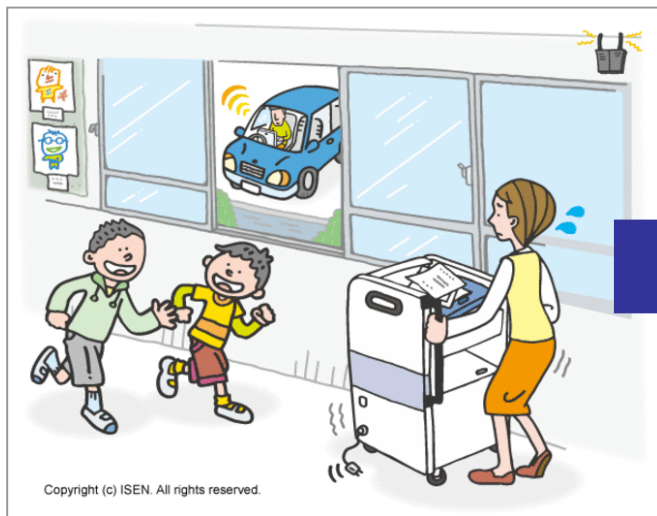
セキュリティ危険予測シート(1) 解答編



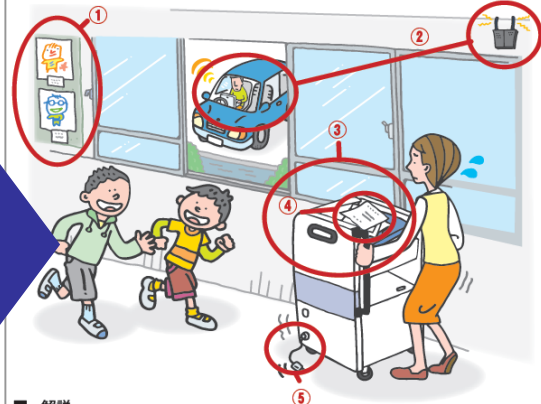
- 危険な可能性
- ①山積みで落ちそうな書類
下に置かれたゴミ箱に落下する
 - ②コーヒーカップ
書類やキーボードの上に中身をこぼしてしまう
 - ③パソコンに貼られたふせん
部外者から見られてしまう
 - ④開きっぱなしの書類
部外者から見られてしまう
 - ⑤机の境界に積まれた書類
他の人の書類に紛れてしまう
 - ⑥ついたままのディスプレイ
部外者から見られてしまう
 - ⑦机に置かれたUSBメモリ
部外者から見られてしまう・書類とまぎれて紛失する
 - ⑧机に置かれた重要書類
部外者から盗まれてしまう・見られてしまう
 - ⑨開きっぱなしの引出し
部外者から盗まれる可能性がある
 - ⑩中身がつまったゴミ箱
部外者から見られてしまう(機密書類はシュレッダーが必要)

■ 解説
成績処理中ということもあり、先生方も細かいことに注意が向かなくなっています。今、この職員室に児童・生徒や保護者が入ってきたらどうでしょうか。また、このまま帰宅してしまったらどうでしょうか。席を離れるときや帰宅時は、重要な情報は見られないようにする配慮が必要です。

Copyright (c) ISEN. All rights reserved.



日常に潜む危険チェックシート(5) 解答編



- 危険な可能性
- ①掲示物
掲示物が開いた窓から飛んでしまうことにより情報が流出してしまう
 - ②無線LANを傍受している人
設定の誤りにより、学校内のネットワークに侵入されてしまう
 - ③ふたが開いたままのプロジェクタカート
カート内の機器を落として壊してしまう
 - ④カートの上に置かれた書類
落として紛失してしまう
 - ⑤収納されていないコード
子供がつまづくと、それによって機器が壊れてしまう
コードがカートに絡まってしまう

■ 解説
休み時間ははしゃいでいる子供も多いですね。最近は、電子黒板やプロジェクタカートなど、重いICT機材を持ち運ぶことがあるかと思いますが、その際は、安全にも気をつける必要があります。窓や掲示物といった、一見、問題がなさそうな、なにげないところにも注意が必要です。

Copyright (c) ISEN. All rights reserved.

Webコンテンツ紹介②

セキュリティ啓発のための資料や情報が満載。教職員向け研修などで利用されています。

イラストポスター

印刷して掲示できる
ポスターやイラストが
ダウンロードできます。



機密書類からの情報漏えいを防ぐために



1. 印刷したらすぐに回収



2. 廃棄時はシュレッダーで

情報漏えい事故ニュース

学校で起こった情報セキュリティ事故を随時更新。
事故に対する委員のコメントは、事故原因や対策案
など

▶ 2013.4.25

【兵庫県】 紛失・置き忘れ

市立幼稚園、小・中学校、特別支援学校、書類の紛失による1719件の個人情報漏えい

2013年4月25日、
兵庫県の市立幼稚園、小・中学校、特別支援学校で、書類の紛失による1719件の個人情報の漏えいがあったことがわかった。

紛失したのは平成5年から18年度に卒業した児童・生徒の指導要録。

市教委によると、今年3月末、同市の市立幼稚園で指導要録の整理をしていたところ、保存が義務付けられている期間内に廃棄されているものがあることが発覚。市内全校園で調査したところ、ほかの校園でも紛失していることが明らかとなった。

保存期間が異なる別様式の指導要録と一緒に保管されていたことが多く、誤って同時に破棄されたとみられる。

©2013.04.25)

ISENの活動(2)メールマガジンでの情報提供

情報セキュリティ事故や関連省庁ニュース、ICTやセキュリティコラムを掲載。月1回配信。

メルマガ購読者18,000件突破

タイトル:【特別寄稿・黒田先生】あなたのもっている情報の価値は?【後編】

本文:

2011年02月25日 <Vol.032>
■■■■ 学校情報セキュリティお役立ちWeb「今日もワンステップ!」 ■■■■
~発行元: ISENメルマガ編集局~ http://www.school-security.jp?banner_id=1

メルマガ印刷
はこちら!

~メルマガを印刷して、朝礼や職員会議で配布したり、
~掲示板に開示してセキュリティ啓発にご活用ください。~

[→] http://www.school-security.jp/ml.html?banner_id=2

目次 [1] 情報セキュリティ事故ニュース ~ささいなミスが事故を招く~

■ [3] 学校ICT・セキュリティコラム ~研究を重ねた専門家が指南~

あなたのもっている情報の価値は?【前編】

富山大学人間発達科学部 教授、富山大学総合情報基盤センター センター長
日本教育工学協会(JAET) 理事
黒田 卓

◆情報流出が話題となった2010年

年が明け、すでに過去の話となりつつあるが、
2010年後半は国内外で情報流出に関する事件が話題となり、
「情報」という見えないものの価値とその保全について
改めて考えさせられる年であった。

国内で発生した「尖閣諸島近海での中国漁船と巡視艇の
衝突事故ビデオ流出」と「警視庁公安部保有の国際テロ情報流出」
の2つの情報流出事件は、まだみなさんの記憶にも残っているであろう。
また、「ウィキリークス事件」の衝撃は、世界中に影響を及ぼした。
どの事件もまだ完全な解決に至っていないわけではない。

これら事件すべてにおいて、流出の媒体としてインターネットが
用いられている。インターネットが諸悪の根源であるかのような
報道もなされたが、どの事件もすべて情報を流出させた「人」が
絡んでいる問題であることを忘れてはならない。

ICTに精通した著名な先生方による寄稿

本メルマガ専用書き下ろされたコラム。学校ICTやセキュリティなど、さまざまな視点や切り口で書かれた、学校・教育の現状や提言などが好評です。

南部昌敏先生（上越教育大学大学院 教授）

「教師の授業力を向上させるための校内教員研修の方法」

米盛徳市先生（琉球大学 教授）

「大学生がみた出身校の裏サイト」

清水康敬先生（東京工業大学 監事(常勤)・名誉教授）

「『個人情報を持ち出さないこと』を徹底する」

山西潤一先生（富山大学 教授）

「デジタル教科書はどこへ向かう」

※執筆当時の所属

最新ニュース・イベント情報などの紹介

日々起きる情報セキュリティ事故や、
学校ICTや、セキュリティ啓発関連のイベント情報を発信しています。
「事故が常に起こっていることを実感できる」などと、好評いただいています。

情報提供により期待される効果

情報セキュリティ意識の向上

全国の教育機関で起こった個人情報漏えい事故ニュースを随時更新。実際の事故ニュースから、学校に潜むセキュリティ事故の危険性に気づくことができます。



最新の学校ICT事情がわかる

各関連省庁や団体の学校ICT化に関する発表をいち早く配信。
さらに、学校ICT化に精通した著名な先生による書き下ろしコラムを掲載。



定期的にセキュリティの情報配信をしておくことで、 組織的な対応策として、セキュリティ事故やミスの予防策となる

定期的な学校情報セキュリティの情報配信は、組織的な情報セキュリティ対策の最初の一歩として簡単に取り組むことができます。



情報配信の方法

学校、先生への情報配信は、自治体様に合わせてお手伝いします。

ISEN事務局では、情報配信のお手伝いを行っています。月1回の情報配信に対して、学校へ直接配信する方法と、自治体様が配信を行う方法があります。



(1) 学校メールアドレスをお聞きし、ISEN事務局が情報配信

教育委員会様から各学校メールアドレスをお教えいただき、ISEN事務局から各学校へ直接情報配信する方法。

(2) 教育委員会様から各学校へ情報配信

ISEN事務局から教育委員会様にメール配信。教育委員会様から、各学校に配信していただく方法。

メルマガ会員の都道府県別の人数

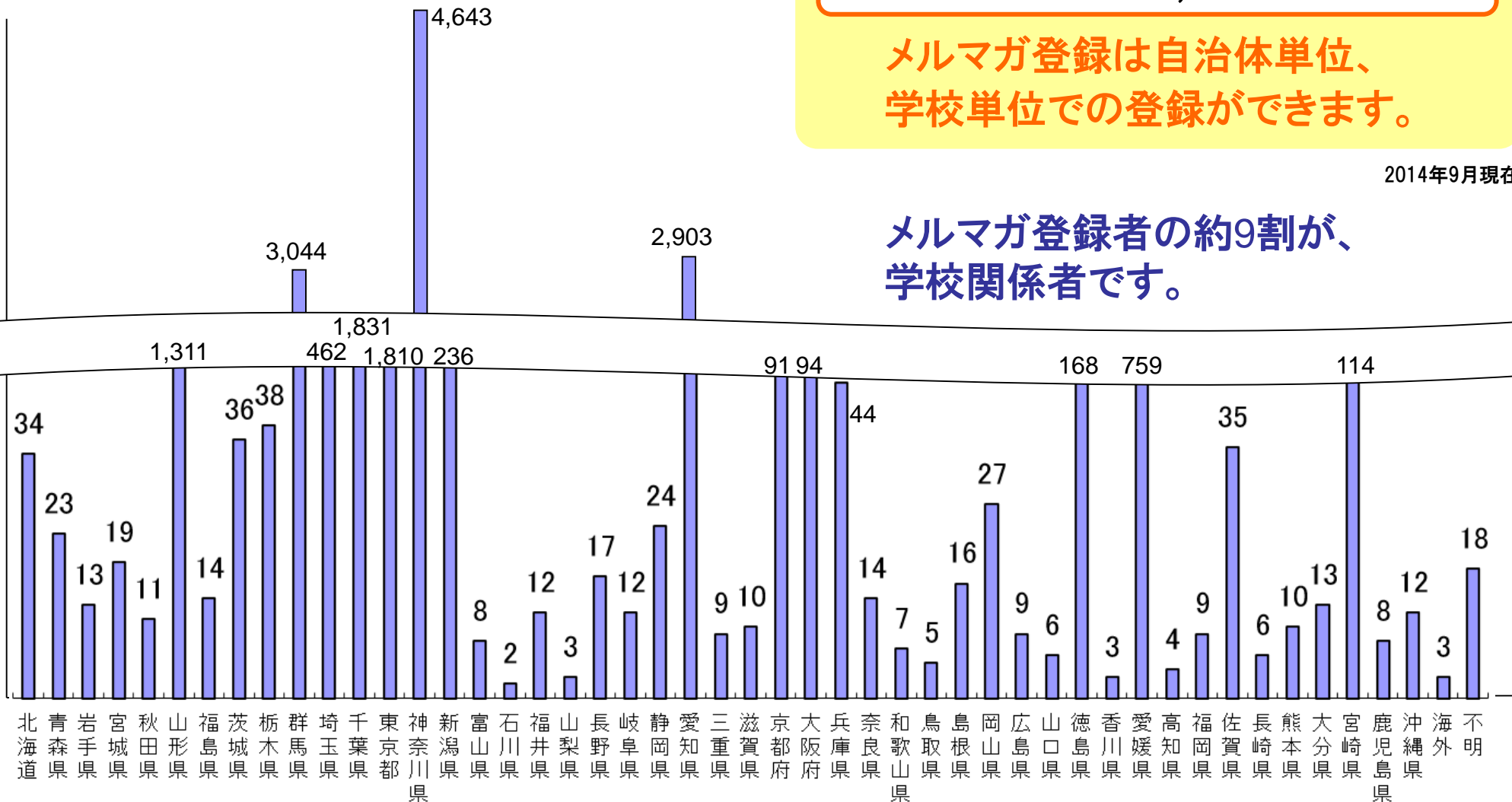
メルマガ登録者 都道府県別人数

合計 18,000人

メルマガ登録は自治体単位、
学校単位での登録ができます。

2014年9月現在

メルマガ登録者の約9割が、
学校関係者です。



ISEN情報の自治体での活用例①

メールマガジン掲載情報の自治体内全校への情報共有

学校のメールアドレスへの配信

- 全小中学校のメールアドレスに配信。
(千葉県A市、新潟県B市、京都府C町、
愛媛県D市、徳島県E町)
- 全小中学校のメールアドレスに配信。
教員用PC導入時に、お気に入りURLを登録してPC配布。
(神奈川県D市)
- 全小中学校のメールアドレスに、
事故情報をピックアップして教育委員会から配信。
(群馬県E市)

グループウェア上に掲載

- 全小中学校の校務グループウェアへ配信。
(群馬県F市、G市、東京都H市)
- 全小中学校の校務グループウェアへ配信。
グループウェア上にISENバナー掲載、Webサイトへリンク。
(群馬県I市)



ISENメルマガ



各学校の代表メールアドレス

- 朝礼での話題として。
- 職員会議で印刷して配布し、情報共有。
- 職員室の掲示版に、印刷して掲示。



ISENメルマガ



校務グループウェア

ISEN情報の自治体での活用例②

「危険チェックシート」の研修での活用

Webサイト上のツールを教職員向け研修で利用

- 定期的な全教員向け研修で、Webサイト上のツールを研修資料として活用。(埼玉県J市、東京都私立大学)
- 管理職向け教員向け研修で、Webサイト上のツールを研修資料として活用。(群馬県教育センター)



自治体サイトから「今日もワンステップ！」へのリンク

Webサイトの情報をリンク集に掲載

- 教育センターのWebサイト上のリンク集に掲載。(島根県教育センター)
- 教職員向けイントラネット内のリンク集に掲載。(長野県教育センター)



学校情報
セキュリティに関する
リンク集に掲載。

ISENの活動(3)

年間情報漏えい事故情報まとめ・教員意識調査

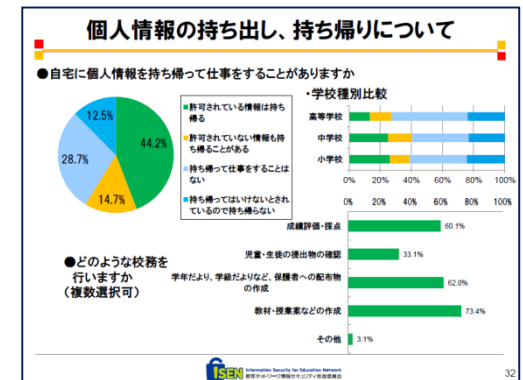
事故の傾向・状況の分析、教員の意識調査を定期的実施

・年度別 学校における情報漏えい事故集計と事故の傾向についてのまとめ

・教員の意識調査結果

小中学校の教員600名を無作為に抽出し、学校での情報取り扱いや情報セキュリティへの意識についてWeb上でアンケート調査を行いました。

- IPA 情報セキュリティ白書2012（上記の調査結果が掲載）
- 宮崎県 小学校への資料提供(同一内容でのアンケート調査を実施)



ISEN委員による研修

ISEN委員が行う、ISENの資料を使った研修の実施

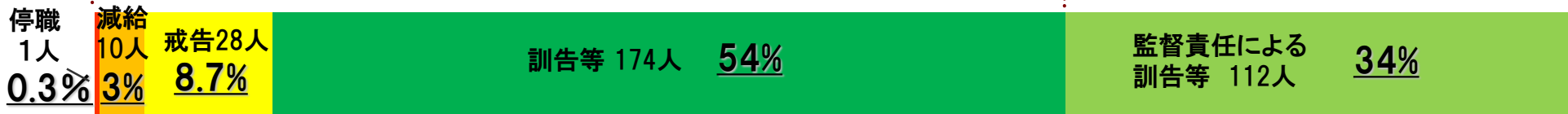
- 県立校の情報担当者に向けた研修(秋田県)
- 教員を目指す学生、学校職員に向けた研修(上越教育大学)
- 全教員向け研修(城西大学附属中学高等学校)



処分を受けた教育職員数 合計**325人**(前年度比21人減)

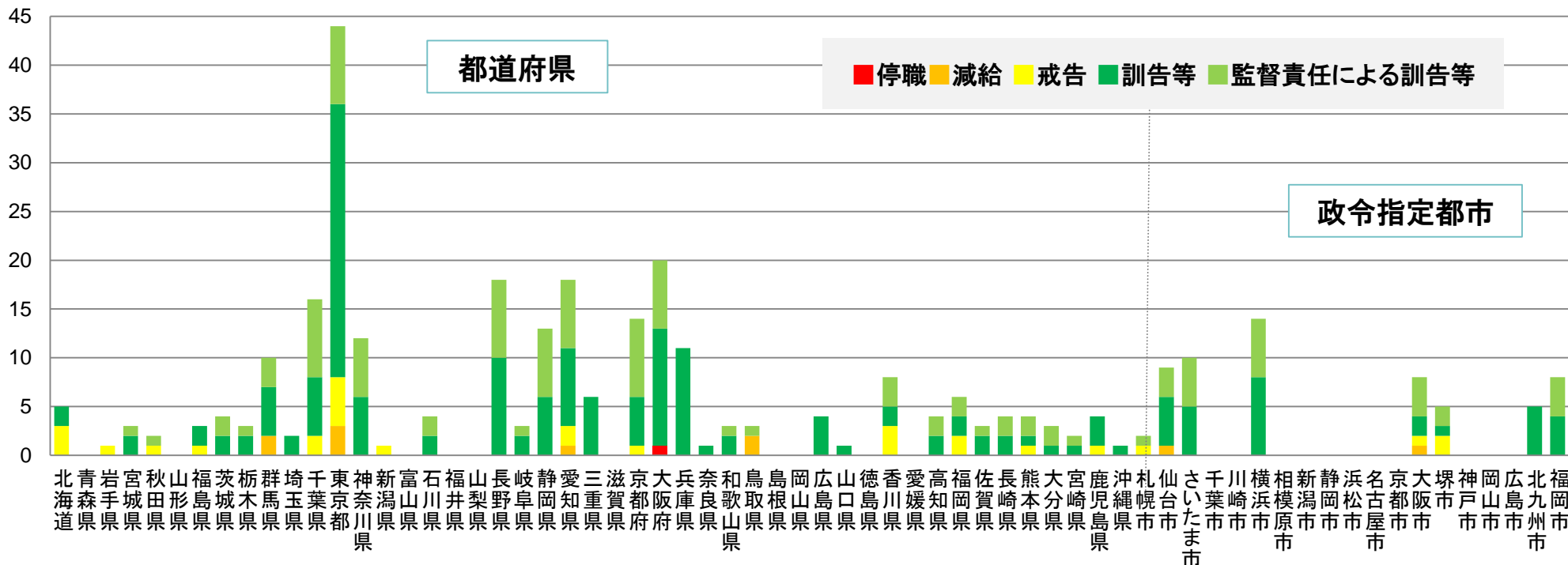
訓告等を含めた懲戒処分等**213人**(前年度比8人減)

懲戒処分**39人**(前年度比14人減)



●都道府県、政令指定都市別処分件数

※文部科学省資料より http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2011/12/22/1314343_09.pdf



●処分の理由

